

大崎町立持留小学校 学校だより 令和3年度 3月15日発行

“笑顔いっぱい”の学校・・・そして“卒業”

校長 幸福 ひとみ

令和3年度は、“笑顔いっぱいの学校”を目指して、特に日頃あまりできない体験活動にも力を入れ教育活動を行ってきました。2月下旬から3月上旬に、コロナ禍ではありましたが、「シイタケ駒打ち体験」と「木工教室(本立て作り)」体験ができました。本県が行っている令和3年度森林環境事業に運良く採用され、数回に渡り体験活動のチャンスに恵まれました。



第1弾⇒秋の「製材所見学学習」に始まり、オンラインにて学校で授業をしていた5・6年生にもその様子をリアルタイムで結び、木材に関する森林循環について学びました。

第2弾⇒「シイタケ駒打ち体験」では、1～4年生が1人2本のシイタケの原木に、約30個の穴を電動ドリルで空けた後、金槌で駒(菌)を打ち込みました。今後講師のアドバイスをいただきながら、なるべく子供の力でシイタケ栽培(2年がかり)とその管理に挑みます。

第3弾⇒「木工教室」では、1～6年の全員が本立て作りにチャレンジしました。木版をノコギリで切る作業から、キリで穴を空け金槌で釘を打ち込む作業でしたので、低学年には、難しい場面(釘打ちで自分の手をたたく等)が多々ありました。しかし、講師や先生たちは、極力子供に任せ自分で作り上げる喜びを味わわせるようにしました。予定より早く、しかも怪我なく世界に一つだけの「本立て」が完成しました。この日ももちっ子のたくさんの満足した笑顔が生まれました。

およそ11ヵ月の教育活動の中で、もちっ子の笑顔(楽しい時間を過ごせた笑み、苦しさを乗り越えた笑み、友達や先生から褒められて嬉しかった笑み等)がどれぐらい自然にあふれたのでしょうか。その文面からは、『きょうだいが入学して一緒に学べたこと』『自分の作文が受賞したこと』『友達と仲良くなれた時や協力した時』『昼休みに6年生と遊べたこと』等が挙げられました。もちっ子の筆跡には重みがありました。

今年度も残すところ、約2週間となりました。コロナ禍の中であってももちっ子は、たくさんのお話を吸収しながらその瞬間瞬間を楽しめたようです。これも偏に、保護者や地域の皆様のサポートがあつたことと感謝しております。(本校スタッフも頑張りました。)

最後に、令和3年度持留小を盛り上げ、在校生のお手本としてあらゆる場面で活躍し、リーダーシップを発揮してくれた5人の卒業生に感謝し、心からのエールを送ります!

今宮 楓さん 中尾 桃さん 永田 楓佳さん
西川 奏音さん 安田 夏菜さん

卒業生とのふれ合いが、在校生の心にしっかり刻まれる思い出となっています。

あ・り・が・と・う!



◎今年度の学校運営協議会評価の結果について～主なものをお知らせします。～◎

領域	自己評価	学校運営協議会委員の意見	評価	改善策及び次年度の構想
学習指導	A	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器の活用によって基礎学力の定着を図ることは、効果的で時代に即している。今後も主体的に活用し、更なる学力向上につなげてほしい。 子どもたちの学力向上に学校全体でよく取り組んでいると思います。 有効活用はもちろんです、タブレットを全児童がしっかりと操作し、楽しく授業を受けている姿に好感がもてました。 タブレットを使うことで、子どもたちの興味関心を高めることができた。 児童のメディアリテラシーにも焦点をあて、育成すべきである。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 知識・理解を基礎とし、思考表現の育成にも力を入れる。 デジタルソフトも活用しながら演習問題や習熟度別問題等に計画的に取り組ませる。 校内全体で情報を共有しながらICT機器を効果的に活用したてできる・わかる授業を実践する。 学校保健委員会を中心にメディアとの関わりせ方、家庭学習時間等の生活習慣の向上を図る。(効果的なタブレットの持ちかえり)
生徒指導	A	<ul style="list-style-type: none"> 思いや気持ちを素直に表現できる文章力の向上は大きな力になる。 定期的な実施される教育相談や連絡帳を用いることで、学校・家庭との情報共有や早急な対応につながったと思う。 個人や委員会発表等機会を設け、子どもたちに自信や意欲をもたせた。 「語先後礼」や「立ち止まり挨拶」の徹底は難しいと思いますが、根気強く指導いただけたらと思います。 挨拶や黙想の意味を児童が十分に理解してこそ、やる意味がある。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 新聞投稿や作品応募により多くの掲載、受賞があった。今後も子どもたち一人ひとりの自信につながる取組を続けたい。 全職員で情報を共有し、今後も全御家庭との教育相談の実施や電話・連絡帳等で保護者と密に連絡をとっていく。 縦割り班を有効活用し「気づき、考え、実行する」活動を推進。 校内で共通理解を図り、全児童に確実に身に付くように、継続して共通実践・指導に努める。
保健安全	B	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの朝走っている姿を見るのが楽しみです。 児童らと行う安全点検は、すばらしい取組だと思います。 家庭でのメディアコントロールは、子どもたちだけに押し付けるのではなく親も努力をしなければと思います。 児童が積極的に体力づくりを行うよう、遊びや競争を取り入れる等工夫が必要だと思う。 毎朝食の徹底と学校給食の完食へ更なる努力を。 	B	<ul style="list-style-type: none"> かけ足や縄跳び、一輪車等の体力づくりに積極的に取り組む児童が増えた。今後も行事や活動での発表を目標に設定し、意欲的に継続して臨めるような工夫をする。 「一家庭一工夫」「メディアコントロール週間」の取組で御家庭と連携をとりながら子どもたちの心と体の健やかな育成をめざす。 今後も感染症対策を意識した給食指導やお弁当給食、栄養教諭の活用等で、食育の推進に計画的に取り組む。



もちっ子コンクール

第23回南九州市 かわなべ 青の俳句コンクール	(特選) 6年 中尾 桃 「寒い朝 車のまどは 自由帳」 (入選) 6年 安田 夏菜 「洋服を たたんだ後に ソーダ水」
『映画感想文 コンクール2021』 体力アップ! チャレンジかごしま	「はれときどき SDGs」 (優秀賞) 4年 柳原 龍臣 (第1位) 2人でサッサ 持留小2年生 (第3位) 馬跳びピョンピョン 持留小2年生

3月24日(木)に卒業式を 開催いたします

今年度は5名の児童(今宮楓さん 中尾桃さん 永田楓佳さん 西川奏音さん 安田夏菜さん)が持留小学校を卒業します。特にたてわり班での活動が多かったこの1年間は、リーダーとしてもちっ子をまとめてくれました。

今年度の卒業式も新型コロナウイルス感染症対策のため、御家族以外の方の出席を御遠慮させていただきます。地域で卒業生を見かけたときには、小学校6年間のごんばりや中学校進学に対して、称賛や祝福の声かけをお願いいたします。



3月・4月行事予定

3月	15日(火) 更ちゃん読み語り隊来校
	18日(金) 卒業式予定
	21日(月) 春分の日
	22日(火) 卒業式準備
	24日(木) 第75回卒業式
	25日(金) 修了式・離任式
	26日(土) 春休み～
4月	4日(月) 入学式準備
	6日(水) 新任式、始業式、入学式
	7日(木) 身体計測・視力・聴力検査

